

## <今朝の聖書から>

【誘惑】“荒野の誘惑”という小見出しで、描かれている今朝の箇所については、幾度かみてきましたが、もう一度御言葉に聞きましょう。こんなことでした。悪魔は手始めに、身体的にも極限状態にある主イエスを次の三つのことで誘惑します。誘惑するというのは、“神から離そう”ということです、そしてサタンと共に働く者にしようということです。すでに信仰を持っている教会員でも“神が本当に働くかどうか確かめてみよ”、“祈ったからとて、空腹が癒されるわけでもない”、“権威と富への憧れは、この世に生きる人なら、持っているのが当たり前”とばかりに、サタンの言うことの方に納得してしまうことがあるようです。

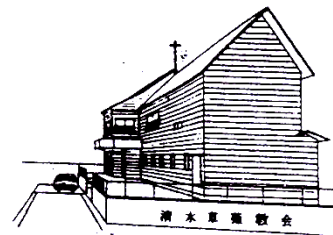
【サタンのもの】4:6 でサタンは“この国々の一切の権力と繁栄とを与えよう。それはわたしに任されていて、これと思う人に与えることができるからだ”と、イエスを試みます。ここで悪魔は、これらの栄光は悪魔のものであることを宣言しています。“仮に”という条件は一切ありません。“わたしたちの手の働きを、どうか確かなものにしてください(詩編90:7その他)”と主に願うのは、限りなく正しいのですが、“栄光と権威を得るために”という願いは聖書に出てきませんし、このような名誉への願いは、サタンとの協力に陥ることが多いのです。

【神の力】主は、このような悪魔・サタンの試みに、聖書の言葉において戦われます。3:22に“聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降って来た。すると、「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という声が、天から聞こえた”という、神様の啓示が、御言葉による勝利を保証しています。罪からの救い主として、私たち信ずる者のために勝利をおさめられました。私たちの力では、このような、肉体の危機や、誘惑には勝てない時があるのです。四十という数字は、出エジプトの清めの期間四十年を想像させます。荒野で人々は、マナという理想的な食物をもって養われたのに“こんなに美味しくないもので、私たちを悩ますのか”とつぶやきましたが、主はマナのない世界で、悪魔の誘惑に勝たれたのです。

【神を試す】4:9に進みましょう、この御言葉をもう少し、原文を損なわずに訳すと“あなたは神の子だから”ということになります。要するにサタンは、イエスが、神の子であることを、すなわち自分の支配下にある世界にも、それらを脅かす救い主としてやってきたことを知っていたことになります。私たちを励ます“使徒信条”に“黄泉にくだり”という言葉があります。この言葉を思い浮かべるべきでしょう。黄泉、そこは“何にもない所”、神との何ほどの関わりも、全くないところ。主の救いは、そこにまで及ぶのです。ナインのやもめが、経験したように、悲しみのただなか、私たち皆が持っている悲しみのただなか、罪の只中にまで、救い主として、十字架の向こうに輝く教会の命、復活の主として、贖うためにおいでくださったことが、この荒野の誘惑の記録(これは恐らく、弟子達が主イエスから、聞いた話でしょうが)から、分かるのです。確かに、旧約聖書には、主を試すという言葉は出てきますが、信頼するという言葉も同じ意味で使われています。I列王18で、エリヤは、主を試したのではないのです。信じたのです。エリヤのように、手のひらほどの希望が教会に与えられたら、福音を信ずるべきです。

# 週報

2011年 3月 13日



伝えよう 救い主を  
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

## 清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

ユース礼拝	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル公会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈祷会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	<a href="http://kusanagi.church.jp/">http://kusanagi.church.jp/</a>	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail [grace@big.jp](mailto:grace@big.jp)

振替口座 00890-6-214042